



いのちを守るために

年度はじめには、「命を守る」ための学習がいくつか計画されています。

4月13日（木）に実施した交通安全教室では、五島自動車学校の先生方にたくさんのことを指導していただきました。

まずは、車のかげから飛び出すとどうなるか…人形を使って実験をしました。ひかれた人形はかわいそうでしたが、「これが自分だったら…」と、子ども達は肝を冷やしたことでしょう。

その後、2グループに分かれて、1・2年生は道路の正しい歩き方を、3～6年生は自転車の点検の仕方と安全な乗り方を学びました。普段の生活の中で、子ども達が一人で信号のある交差点を渡ったり、大きな道路を自転車で通ったりすることは、あまりないと思います。しかし、自分の体やいのちを守るためには、今回学んだことを基本として、その場に応じた行動をする「かしこさ」が必要です。そんなときは、「左右の確認」や「スピード」を考えながら行動してくれるでしょう。



また、交通安全に関する講話もしていただきました。講話の中の「みなさんがいなくなれば、家族が深く悲しみます。だから、自分のいのちを守ることは、家族の心を守ることになるのです。」ということばにとっても共感しました。

最後は、6年生の新井奏良くんが「今日学んだことを生かして、これからは、正しい自転車の乗り方をします！」と宣言をして締めてくださいました。今後も、交通事故のない盈進小学校を続けていきます。

最高学年として…

6年生は、よりよい学校を築いていくため、いろいろなイベントに取り組んでいます。現在は、

『下駄箱やロッカーの整頓』

『トイレのスリッパ並べ』 です。

下駄箱やロッカーについては、自分たちの課題だと思いましたが、トイレのスリッパは昨年の学校課題でした。そこに目をつけた6年生は、この2つのことに取り組んでいます。右の写真は、6年生の下駄箱の写真です。まずは自分たちが変わることによって、学校全体が変わることでしょうか。きれいに揃えられています。見ていてとても気持ちがよく、心が落ち着きます。



1年生のお世話をしながら、最高学年としての自覚がさらに深まっています。6年生の頑張りが他学年にも届き、トイレのスリッパも…。